

CMSC福島・高橋選手、A-IIIクラス8位と健闘

全日本ダートトライアル選手権
第7戦オールスターダートトライアル'89
11月11、12日名阪スポーツランド

'89年を締めくくるとダートトライアルのビッグイベント、オールスターダートトライアルは11月11、12日に名阪スポーツランドで行われた。

CMSCメンバーも、ダートラではずいぶん活躍している。オールスターには砂塚明男選手、荒井信介選手、高橋正喜選手などが参加、ギャランVR-4で激戦のA-IIIクラスを闘った。

期待の砂塚選手は1トライ目はリタイア。高橋、荒井の両選手は好調な出足かと思われたが、惜しいパイロンタッチでふたりとも1分22秒後半のタイムだった。高竹優之選手もパイロンタッチで1分24秒台で1トライ目を終える。

そして2トライ目。砂塚選手はことしのシリーズで見せてくれた華麗な走りに比べると、いまひとつ調子が出ない。1分23秒960と、不本意なタイム。高橋、荒井、高竹の3選手はパイロンタッチこそなかったが、いずれも1トライ目のタイムを縮めることができなかった。

ベストタイムをたたき出したのは、強敵レガシィを駆る山下公男選手。1分21秒037というタイムだった。結局、A-IIIクラスの優勝は山下レガシィで、CMSCメンバーは高橋選手が8位、荒井選手が9位、砂塚選手が15位、高竹選手が16位にそれぞれ入った。



A-IIIクラス 8位のCMSC福島・高橋正喜選手



A-IIIクラス 9位のCMSC群馬・荒井信介選手



A-IIIクラスシリーズ 3位の砂塚明男選手

CMSC山形 砂塚明男選手

この世界に魅せられ、のめり込んで早、15年、二度ある事は、三度ある。

ここ一番のオールスターダートトライアルで三度目の転倒をしてしまいました。

それでも全日本でA-3クラス三位、C地区一位をと言う成績を残す事が出来ました。

一年を振り返って見ますと、第一戦丸和、第二戦九州と調子がでず、七位どまり、第三戦秋田はあわや優勝と思いきや二位。このミナミユースランドは、高速で私の好きなコースの一つです。第四戦北海道、砂川サーキットも高速で背中に冷汗が出るほど、自信とそして燃え立っていたのですが、三位に終わり好きなコースなので来年こそは……。

第五戦大雨の鈴鹿七位ウェットのむずかしさを、痛感。そして第六戦広島、初めて見るタカタサーキットの路面の良さに、ビックリ。丸和と同じか、それ以上の良さ、チョット攻め過ぎたかバンクで足廻りをいため四位。

そして魔のオールスター。転倒してルーフがつぶれフロントガラスが割れているのに、フレームもビラーも壊れていない。改めてギャランのボディの強さに頭が下がる思いです。他のチームメカニックの人達の手をかりガラスを入れ替え、2トライ目は無事完走する事が出来ました。

この一年間北海道から、九州へと走り回る事ができたのもスポンサー各社のお力添えがあったからで

す。この紙面を、お借りしまして、お礼申し上げます。又来年も全日本戦を全開で、チャンピオンをねらいたいと思います。

砂塚 明男



大西選手(CMSC青森)シリーズ4位

'89全日本ラリー選手権シリーズ

ギャラン、ブルーバード、レガシイが熱い闘いを繰り広げた'89全日本ラリー選手権シリーズのCクラス。シリーズチャンピオンは桜井幸彦選手が獲得したが、CMSCメンバーの大西康弘選手がシリーズポイント4位と健闘した。

'89シーズンの全日本ラリー選手権シリーズは、シーズン序盤から大いに盛り上がった。とくにCクラスはトップ・ドライバーがシーズンゲームを演じるという、ラリーファンにとってはこたえられない内容だった。

有力マシンは、我が三菱のギャランVR-4。クロスミッション搭載車も登場して、ギャラン・ユーザーからも好評だった。これにブルーバードが続く。とくに綾部美津雄選手、神岡政夫選手はギャランをおびやかした。シーズン中盤には水平対向4気筒DOHCターボエンジンを搭載したレガシイが登場、まさに三つ巴の争いとなった。

全日本戦に出場するCMSCメンバーはまだまだ少ない。日本を代表するラリー・イベントとしてレベルも高く、また、Cクラスではギャラン、Bクラスではミラージュ、Aクラスへはミニカ・ダンガンと車種も限られ、しかも出場に当たっての準備、それにかかる費用などは地方戦を上回ってしまう。

しかし、三菱自動車工業およびラリーアートではラリー用パーツの開発に今までにないほどの力を投入しており、今後は出場しやすい体制が整うだろう。'89シーズンは大西選手が大健闘を見せたが、ぜひ、大西選手に続く若手の台頭に期待したい。

また、'89シーズンでは、夢半島ラリーin能登がオーガナイズ不備でJAFの公認を得られず、これに出場したドライバーの全日本戦ポイントが認められないというアクシデントがあった。マシンの改造問題も含め、ラリー運営上の大きな問題として、ことしは主催者側の姿勢も問われよう。

JAFモータースポーツ委員会・ラリー小委員会では、寺尾委員長が①地域で無理のないラリーの開催②ラリーの社会性への配慮③フェアな競技——の3点についてとくに強調した。また、小委員会では'90年からスタート順をAクラス→Bクラス→Cクラスとすることや、主催者はラリー2ヵ月前に事務局をオープンすること、車両違反で失格した競技者はそのシーズンのエントリーができないことがそれぞれ決定されている。

'90全日本ラリー選手権は、第1戦・DCCSウィンターラリーが2月3、4日、第2戦・ACKスプリングラリーが4月21、22日とそれぞれ決定している。来シーズンも、CMSCメンバーの大いなる躍進が期待される所だ。

有効ポイント202点でCクラスシリーズ4位の大西選手▶



▲第9戦夢半島in能登での大西選手の走り

ダートラで絞めくくった'89年、来年もやるぞ!

'89CMSCアストロトリアルII '89JAFダートラ四国地方選手権最終戦 10月8日(日)

CMSC香川、ことし2回目のダートトリアルは'89JAFダートトリアル四国地方選手権の最終戦(第10戦)として行われました。1回目はシリーズ開幕戦ということもあって参加台数はかなりのものでしたが、今回はポイントが決定していたクラスの参加が少ないため全部で50台。それでも、CMSC香川恒例!?の雨もほとんどなく、コンディションに恵まれたなか、最終戦にふさわしい熱戦が展開されました。

さて、三菱車の活躍が期待されるA-II、A-IIIクラスですが、今回はクラブ員がすべてオフィシャル

にまわったことや、シリーズポイントが両クラスともほぼ決定していることが重なり、三菱車でのエントリーはA-IIIクラスの金森聖選手(ギャランVR-4)だけ。CMSC香川としては少々さびしい内容でしたが、金森選手はクラス4位と健闘(当然三菱賞も1位)してくれました。

無事、ことしのイベントを終え、ホッとひと息ついているCMSC香川。これも本部の方々のご援助のお陰と感謝しています。来年もダートトリアルとラリーを1戦ずつ主催する予定です。また、応援して下さい。(CMSC香川 白井 修)



CMSC香川 金森聖選手▶

ハプニング連続で、井馬ギヤラン逆転優勝

秋まつりダートラフェスティバル
CMSC帯広
10月22日

今回のダートトライアルは晴天無凡の秋晴れ、しかもコース上は朝霜のおかげで適度の湿り気があるという絶好のコンディションのなかで行われました。

三菱車の参加しているAIIIクラスは大激戦。1トライ目は、まず佐々木選手のギヤランがコマ差で井馬選手をリード。伊吹選手は体重のせい!?タイヤがバーストするというアクシデントに見舞われ、千尋選手はジャンプの着地に失敗してドラムカン2本と激突、昨年の優勝者の十川選手のランサーもミスコースするなどハプニングが続出でした。

2トライ目は、伊吹、千尋、十川の各選手ともに



▲A-IIIクラス3位の伊吹浩明選手

上位2人には手が届かず。しかし、自己タイムを短縮すべく快走した佐々木選手は、最終スラローム手前でタイヤがバーストしてしまった。これで万事休す。これを見届けてニンマリとスタートした井馬選手のギヤランは余裕の走り。ゴール直後にVサインを見せ、この日の総合ベストラップもたたき出すという活躍で逆転優勝に華を添えました。もちろん、賞金・賞品は井馬選手の総取り。エントラントの冷やかな視線(うらやましかった!)も何のその。まさに“井馬デー”のダートトライアルだったわけです。

(CMSC帯広 青沼)



▲タイヤがバーストしたA-IIIクラス2位の佐々木選手



▲ベストラップでA-IIIクラス優勝の井馬選手

初のジムカーナ主催は、ますます大成功

'89スリーダイヤモンド ジムカーナ CMSC栃木 9月17日

ちょっと古い話でスママセン。しかし、CMSC栃木としては初めてのジムカーナ開催だったので、全国の皆さんにお知らせしたい!

9月17日、私晴れの日光スピードパークで112台の参加を得て'89スリーダイヤモンド・ジムカーナを開催しました。初体験ということで、とくにコース設定には神経を使い、クラブ員全員が知恵を絞ってスピード感のあるダイナミックなコースに仕上げました。ジムカーナという、どうしてもパイロンを多用したテクニカルコースになりますが、我がCMSC栃木のコース設定はパイロン3本のみ!しかしライン取りはけっこう難しく、参加者の方には十分満足して頂けたようです。

栃木県ジムカーナシリーズのなかの1戦として行われ、参加台数は初主催としては十分。三菱車の参加が2台しかなかったのは寂しいことでしたが、地元のもータースポーツファンに喜んでもらえたことは大きな救いです。

表彰式には、我がクラブ恒例のカラーテレビが各クラスの優勝者に贈られ、その他スポンサーよりご提供頂いた数々の賞品が入賞者に贈られました。また、初の試みとして入賞しなかった方を対象に“じゃんけん大会”を行い、とにかく全員に何かを持って帰って頂くという趣向で大いに表彰式を盛り上げました。

(CMSC栃木 篠崎)



▲ダートラ仕様で参戦する選手も



三菱賞1位の千葉選手(右)と2位小林選手

紅葉ドライブとバーベキューで

第2回ファミリークイズラリー CMSC埼玉 11月19日

CMSC埼玉、第2回のファミリークイズラリーは11月19日に開催されました。約30名の参加を得て、埼玉三菱コルト自動車販売の本社から神流湖へと出発しました。参加者は手渡されたコマ図に従ってクルマを走らせ、クイズを解きながら目的地に向かいます。我々とオフィシャルは先廻り。ラリーといっても、ムードはのんびりしたものです。

ちょうど秩父、長瀬のあたりは紅葉が見ごろで、先廻りルートをとりながらもドライブが楽しめました。また、休日にはSLを走らせている秩父鉄道の線路があり全国のCMSCクラブ員の方にも絶対におすすめのドライブコースです。

神流湖畔の下久保コテージ入口に到着したオフィシャルは、さっそくバーベキューの用意。前の晩にクラブ員が仕込みをしておいたので、ハラペコの参加者を迎える準備もすぐにOK。グットタイミングで参加のクルマがゴールに到着、クイズの答えを収計し、順位が決定したところで狂食となりました。満腹になったところで順位の発表。結果は、第1回優勝チーム、斉藤チームが2回連続優勝。当クラブ中島会長から記念品が手渡されました。表彰式のあとは神流湖をバックに記念写真。なごやかムードのイベントは、無事終了しました。

(CMSC埼玉 事務局一同)



▲神流湖をバックに全員で記念撮影

新発売

RALLIART '90 COLLECTION

みな様に好評をいただいている、ラリーアートコレクションに、新たに秋冬の新作を加えて'90コレクションが発売されました。ファッションブルで爽やかないろづかいでこれからの季節にピッタリのアイテムです。ぜひ、みな様のワードローブの1つとして加えてください。



RALLIARTクラブマンズウェット
(RAY1205CM・L・O) カラー:ブラック/パープル・(RAY1204CM・L・O) カラー:グリーン/パープル
サイズ:M・L・2L/素材:綿30%・ポリエステル70%/¥8,600



RALLIARTクラブマンセーター
(RAY0304CM・L・O) カラー:ネイビー
サイズ:M・L・2L/素材:毛100%/¥16,000



RALLIARTクラブマンウインターブルゾン
(RAY1815CM・L・O) カラー:グリーン・(RAY1814CM・L・O) カラー:レッド/サイズ:M・L・2L/素材:表地ナイロン100%・裏地ポリエステル100%・中綿ポリエステル100%/¥24,000



RALLIARTウインターブルゾン
(RAY18013M・L・O) カラー:レッド+ホワイト/サイズ:M・L・2L/素材:表地ナイロン100%・裏地ポリエステル100%・中綿ポリエステル100%/¥23,000
RALLIARTウインターオーバーシャツ
(RAY10007M・L・O) カラー:レッド/サイズ:M・L・2L/素材:表地ナイロン100%・中綿ポリエステル100%/¥14,000

お求めおよびお問い合わせは、お近くの三菱自動車販売店へどうぞ。商品はデザイン、カラー、価格等、予告なしに変更することがあります。記載価格には、消費税は含まれておりません。

'89CMSCチャレンジカップ 11月集計速報!!

いよいよ大詰めを迎えた'89CMSCチャレンジカップの11月までの集計がまとまったのでお伝えしよう。

まず、クラブ別ポイントでは、1500点を越えるポイント稼いだ山形がトップ独走。つづいて帯広が800

点台で頑張っている。しかし、山形の大量得点は本年度の優勝を決定したのではないと思われる。

ラリー部門では、山形の渡辺選手が断然リードを保っている。ナビゲーター部門では福島佐藤選手

が実力発揮といった感じで独走。そして、レース部門では小川選手がトップ定位置。しかし、スラローム部門は激しいトップ争いを演じている。最終集計ではどのように順位が入れかわるか楽しみである。

●クラブ別獲得ポイント

	1~5月	6~8月	9~11月	12月	合計
帯広	355	310	233		898
札幌	48	0	0		48
青森	72	100	80		264
山形	404	403	728		1535
仙台	10	0	4		14
福島	374	277	116		767
栃木	34	49	24		107
群馬	225	89	158		472
埼玉	51	72	71		194
千葉	0	0	0		0
岐阜	112	147	169		428
島根	157	0	0		157
香川	335	248	115		698

●ラリー・ドライバー部門

渡辺 俊昭	山形	188
大西 康弘	青森	84
小山 和邦	埼玉	76
梶 沢 宏之	青森	72
福士 文秀	青森	52
福本 光志	帯広	39
青沼 達也	帯広	35
館山 正嗣	青森	30
粥川 秀昭	岐阜	26
佐々木 伸之	札幌	24

●ラリー・ナビゲーター部門

佐藤 忠宣	福島	482
今野 泰正	山形	188
葛西 一省	青森	80
蔵本 隆充	埼玉	76
石田 隆雄	青森	42
梶 沢 宏之	青森	40
中村 洋次	帯広	34
伊吹 浩明	帯広	30
瀬々 徹	埼玉	28
若林 和昭	群馬	20

●スラローム部門

榎田 正文	岐阜	362
砂塚 明雄	山形	359
青沼 達也	帯広	315
須田 行雄	福島	315
高橋 正喜	福島	272
高竹 優之	香川	258
荒井 信介	群馬	253
井馬 隆光	帯広	200
杉山 敏夫	山形	175
伊吹 浩明	帯広	156

●レース部門

小川 日出生	山形	326
東江 誠	山形	80
郡司 義光	栃木	61
木村 政義	山形	52
蒲原 芽里	埼玉	42
竹田 恒生	山形	38
川口 法行	栃木	27
山口 茂	栃木	19

●ポイントのつけ方

↓リタイアには予選通過も含む

	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	11位以下	リタイア
ポイント A	40	30	24	20	16	12	10	8	6	4	2	0
ポイント B	20	15	12	10	8	6	5	4	3	2	1	0

A = ラリー……………全日本選手権、JMRC地区最上級シリーズ
スラローム……………全日本スピード行事選手権、地方スピード行事選手権、JMRCシリーズ
レース……………全日本選手権、地方選手権、ミラージュカップ
B = それ以外の競技会